

著者紹介

加藤 敏行 Katô Toshiyuki

名古屋市立東市民病院第一小児科部長。医学博士。昭和42年名古屋市立大学医学部卒業、43年ECFMG合格、47年同大学院修了、52年名古屋市立大学医学部小児科医局長、56年同講師、59年愛知県川崎病対策協議会委員、59年県医師会心臓検診小委員会委員、61年名古屋市立大学小児科助教授兼副部長、平成2年名古屋市立東市民病院小児科部長、3年現職、5年県ウイルス感染症対策協議会委員。専門分野：川崎病、小児感染症及び小児循環器病学。所属学会：日本感染症学会、日本小児科学会、日本小児循環器学会。

長谷川幸治 Hasegawa Yukiharu

名古屋大学医学部整形外科講師。医学博士。昭和53年名古屋大学医学部卒業、60年ロンドン大学（スウェーデン）研究員、61年東京厚生年金病院整形外科医長、63年名古屋大学医学部整形外科助手、平成3年現職。専門分野：変形性股関節症の病態と治療、特発性大腿骨頭壊死症の病態と治療、骨粗鬆症（大腿骨近位部骨折の疫学）。所属学会：日本整形外科学会、日本リウマチ学会、日本股関節学会。

小嶋 武 Kozaki Takeshi

国立名古屋病院小児科医長。医学博士。愛知大学法学部に2年間学ぶ、昭和37年名古屋大学医学部卒業、42年同大学院修了、42年同副手、43年名城病院小児科、44年国立名古屋病院小児科、48年名古屋第一赤十字病院小児科部長、56年現職、藤田学園保健衛生大学医学部客員教授（現）。専門分野：小児心身症の家族療法。所属学会：日本小児科学会、日本心身医学会、日本小児心身医学会。

松尾 清一 Matsuo Seiichi

名古屋大学医学部第三内科助手。医学博士。昭和51年名古屋大学医学部卒業、56年同大学院医学研究科修了、同年マウントサイナイメディカルセンター（米国）留学、57年ニューヨーク州立大学バッファロー校留学、59年中部労災病院内科副部長兼人工腎室長、61年現職。専門分野：内科学、腎臓内科学、リウマチ学。所属学会：日本腎臓学会、日本リウマチ学会、米国腎臓学会。

吉岡健太郎 Yoshioka Kentarou

名古屋大学医学部第三内科講師。医学博士。昭和54年名古屋大学医学部卒業、同年名古屋第一赤十字病院、57年名古屋大学附属病院、59年ニュージャージー医科歯科大学（米

国）内科学、61年名古屋高等裁判所医務室、名古屋大学医学部助手、平成4年現職。専門分野：慢性肝炎の免疫学的機序、アルコール性肝障害におけるマロリー硝子体、肝炎ウイルス遺伝子の解析、慢性肝炎に対するインターフェロン治療。所属学会：日本内科学会、日本消化器病学会、日本肝臓学会。

田島 正孝 Tajima Masataka

田島クリニック院長。医学博士。昭和42年名古屋大学医学部卒業、47年同大学院医学研究科修了、50年同医学部助手。その後、国立東静岡病院・中部労災病院・第一日赤病院脳外科に勤務、57年医療法人大医会おりと病院院長、平成4年開業。専門分野：めまいの診断と治療、小児脳神経外科、スポーツ医学。所属学会：日本脳神経外科学会、日本平衡神経学会、日本頭部外傷研究会。

小林 一弘 Kobayashi Kazuhiro

浜松医科大学精神神経科助手。昭和62年浜松医科大学卒業、平成7年現職。専門分野：精神疾患の分子遺伝学。所属学会：日本精神神経学会、東海精神神経学会、日本生物学的精神医学会。

斎藤 久子 Saitô Hisako

子どもクリニック院長、名古屋市立大学医学部小児科非常勤講師。医学博士。昭和28年名古屋市立大学医学部卒業、28年中京病院インターン、29年名古屋市立大学医学部小児科入局、31年名古屋市児童相談所、38年西尾市民病院小児科、45年名古屋市立大学小児科非常勤講師、49年名古屋第二日赤小児科（現）、52年開業。専門分野：小児精神神経学、発達小児科学。所属学会：日本小児科学会、日本小児精神神経学会、日本小児心身医学会。

城後 俊明 Jô go Toshiharu

城後小児科院長。医学博士。昭和30年岐阜県立医科大学卒業、31年同小児科入局（臨床助手）、36年福井県公立小浜病院小児科医長、38年愛知県尾西市民病院小児科部長、42年開業、63年尾西市医師会長。専門分野：小児期・思春期の心身症、小児神経学、小児アレルギー疾患、東洋医学（和漢医薬学的診療）。所属学会：日本小児科学会、日本小児神経学会、日本東洋医学会。